

岩手郡医報

No. 1 1
編集／発行
岩手郡医師会

57. 10. 19



－鬼古里から盛岡市街を眺望－

岩手山や姫神山などの山々を平地から仰ぎ見る時の美しさは、今更いうまでもないが、これとは逆に、山や丘から広い平野を見渡した時の美しさもまた格別である。

滝沢村には、盛岡の街や郊外を一目に見渡すよい場所が幾箇所もあるが、その第一は鬼古里である。

鬼古里は、役場前から姥屋敷に通ずる道路の途中にある。

この写真は、鬼古里から盛岡の方を眺めたものである。

滝沢音頭では、鬼古里を次のように歌っている。

一目千両の鬼古里行けば
夢のドライブ風も鳴る

あれは北上、四十四田ダムか

呼べば応えるすばらしさ

ソレ、すばらしさ

鬼古里は、その昔落人ででもあったろうか、非常に強力の者が居を構えていたところと伝えられている。

鬼古里に接続して、ダムのある鬼越があり、更に岩手山の中腹には鬼が城があり、興味を覚える。

鬼古里の麓の滝沢で、明年一月と二月に、県民健康講座が開催される。どの町村からも多数参加されることを希望する。

高橋 牧之介

(撮影、橋本薬品 赤沢君)

行事関係報告

1 日医関係

8月9日付ドキュメントテレビ番組制作について協力要請あり。

2 県医関係

- (1) 6月28日全国学校保健学校医大会席上に於て表彰者のすいせんについて、当医師会は該當者なしと回答す。
- (2) 8月11日日本医師会費並日本医師政治連盟の会費について
- (3) 全日岩手県医師政治連盟の会費について、年間A会費 4,000円とし二期及び三期の日医、県連会費と同時に念書により納入すること。

(4) 6月28日本年度東磐井郡医師会担当にて8月22日行なわれる県医親善野球大会に於て10年選手として嶋信先生被表彰者と決定す。

(5) 8月18日リクレーション施設プータロ村並いこいの村（西根町）の利用について、(6) 8月18日県医師国保通常総会並共済会の議案送付あり、詳細は次号（爪田組合議員より）。

(7) 9月15日宮古カントリークラブに於て県医親善ゴルフ大会開催せらる筈。当医師会より土谷、坂井外4名参加の予定。（結果次号掲載）

(8) 7月17日釜石市小白浜に於て県医海釣大会開催される。当医師会より19名参加。

試合結果はいわて医報に発表されたるも

詳細については次号掲載。

3 郡医関係

(1) 会員の移動

(i) 入会

光井庄太郎 滝沢中央病院長
(岩手医大名誉教授)
(青山町同仁会病院長より)

武内 健一 滝沢中央病院
高橋 克郎 町立葛巻病院副院長
(外科)
岩手医大第一外科より

(ii) 退会

島崎 吉夫 滝沢中央病院より
盛岡市原田回生病院に
(2) 6月22日第三支部（支部長高橋牧先生）。ホテル東日本に於て医事紛争についての講演会を催す。

講師 石川 育成先生
(県医医事紛争対策委員会副委員長)

(3) 6月28日前年度郡医師会学校医部会が実施した郡内小中校第一学年全員の扁平足調査の印刷物が出来上り、関係者に下記の如く送付す。

記

- (イ) 管内全小中学校
- (ロ) 岩手、平館、零石、葛巻各高校（参考）
- (ハ) 関係町村教育委員会
- (ニ) 県医師会
- (ホ) 各郡市医師会
- (ヘ) 盛岡、岩手両保健所

- (ト) 県教委体育保健課 記
 (チ) 岩手郡医師会全会員 肥田技官
 (リ) 県医師会執行部及県医師会学校医部会 千葉医療事務指導官
 幹事全員
 尚 3 - 4 の医師会より御礼の挨拶あり。
- (4) 7月24日零石町鶯宿温泉ホテル加賀助にて臨時総会並講演会を開催す。
 出席者37名委任状提出者18名（主として各町村1名宛の診療担当者及び病院当直者）なり。
- (I) 臨時総会
 (イ) 開会の辞 近藤副会長
 (ロ) 会長挨拶並諸報告
 (ハ) 議長 和田先生
 (ニ) 議事
 i) 昭和57年度一般会計決算

収 入	2, 595, 800 円
支 出	2, 544, 887 円
差引残高	50, 913 円

 次年度繰越
 ii) 休祭日当番医会計

収 入	3, 265, 816 円
支 出	3, 228, 919 円
差引残高	36, 897 円

 次年度繰越
 iii) 特別会計

収 入	4, 507, 358 円
支 出	3, 732, 659 円
差引残高	774, 699 円

 次年度繰越
 (ホ) 熊谷（文）監事の監査報告あり。
 三議案共万場一致可決せらる。
 (ヘ) 閉会の辞 土谷副会長
- (II) 講演会
 総会終了に引き続き講演会を開催す。
 尚講師として御願いの県保険課長は発熱の為欠席せられ下記の講師の講演を拝聴す。
- (III) 懇親会
 講演会終了後、直ちに開催す。
 尚席上に於て各会員より両講師に対し盃を交しつゝ種々御尋ねし約3時間を和気あいあい裡に時間を経過す。
- (2) 7月25日午前10時より零石町小岩井農場グランドに於て来るべき県医師会親善野球大会に備え盛岡市内薬品会社連合軍と練習試合を行なう。医師会チームは前夜の呑み過ぎにも負けず勇戦敢斗し大差にて勝利を收む。終って小岩井遊園地新装の食堂にて名物のジンギスカンにて昼食をなし来年の再会を楽しみに解散す。
 尚小岩井に於けるすべての設営を担当された高橋（孝）先生、山崎事務長に感謝す。
- (3) 8月11日西根町高橋食堂に於て第二支部（支部長土谷先生）の協議会が開催される。
 尚明年の県医総会並に岩手医学会春季医学会の開催を当医師会が担当するため当日立花西根町長さん外助役、収入役、教育長、保健課長、総務課長さんの御出席を御願い致し開催について御協力を御願い致したる処全面的御協力をいただくこととなりました。西根町長さん外各位に対し厚く御礼申し上げます。
- 4 医師信金関係
 全会員の加入を希望される。
 尚預金増強について近く信金理事長並に信金秋浜理事が各地区を巡回の予定。郡医師会に対し定期100万以上4名、外各役員に定期

万其の他の会員に定期20—30万を御願い致したいとのこと、詳細は后日秋浜信金理事より各位に連絡がある筈。

5 其の他

- (1) 6月12日サンビルに於て検案医の集い開催される。関係会員多数出席す。
- (2) 8月27日安代町農協研修センターに於て岩手保健所管内公衆衛生大会開催される。会長出席祝詞を申し上げる。

6 予防医学協会関係

日曜人間ドックを10月中の日曜日に実施の予定。

医師国保会員家族、従業員は費用を医師国保にて負担とのこと。

40才を越える会員即ち中老年会員には文書発送すみ。

明日の健康を考えて受診せらるゝ様御願いいたします。

7 県医親善野球大会奮戦記

最后になりましたが8月22日東磐井郡医師会担当にて千厩町にて開催される。岩手郡チームは必勝を期し前号（岩手郡医報第10号）登載のメンバーに新しく滝沢中央病院に勤務の大投手武内君を加え前夜宿泊の三島温泉ホテルのアルコール飲料もひかえ第一回戦は強

剛久慈チームと対戦、白熱的熱戦を軒先し持時間50分にて4対4の同点なり、規定により両軍ホームプレート上に整列し審判4氏立会のもとにジャンケンにて勝敗を決することとなる。医師会野球の原点であるジャンケンは天遂に吾に味方せず5対2にて敗れる。

一同捲士重来明年の一関大会の優勝を期し懇親会に出席のあと千厩をあとにする。

帰路途中げいび渓に立寄り名物の鮎にて昼食をなし帰路につく。

当日の当医師会のメンバー下記の通り。

記

総監督	近藤	純造
監督	秋浜	晃
1 B	高橋	牧之介
2 B	西島	康之
L F	本山	渉
P	武内	健一
S S	岡田	信親
R F	高橋	司
3 B	嶋	信
C F	遠藤	哲夫
C	宮沢	護

奮戦誠に御苦労さんでした。

保険部便り

昭和57年度社会保険医療担当者の指導方針について

この記事は、去る5月13日県医師会館に於て、岩手県福祉部が県医師会と標記について打合せを行った内容を、盛岡市医師会が会報に掲載したものと、同医師会と、記事執筆者である県医師会理事金野宏太郎先生の承諾を得て、ここ

に転載するものである。

1. 集団指導は新規指定の保険医療機関を対象として行うことになっているが、種々の事情で容易に行い得ない状態にあるので、今年度は各ブロック別の集団指導を積極的に行うこ

とに方針を決めた。その具体的な方法として
郡市医師会を計画している保険診療講習会を
利用したいと言っている。そこで講習会を行
う際には県医師会を通じて日程等の打合せを行
い、その実施を円滑するよう希望している。
2. 個別指導については従来の方法をとるが実
施に当って次のような原則によって行われる
ことになるので注意されたい。

- (1) 新規に指定した保険医療機関
 - (2) 昭和54年1月の厚生省から示された項目
即ち、著しい高点数のもの、漫然診療の継
続、異常に多い時間外や自家診療と往診、
又、不適正な腎透析が行われていると思わ
れる保険医療機関
 - (3) 審査の上で過誤や照会事項の多い保険医
療機関
 - (4) 患者や保険者から苦情の多い保険医療機
関
 - (5) その他特に必要と認められる保険医療機
関
 - (6) 今年度は厚生省から指導医療官が来盛し
て、直接保険診療状況をチェックする事に
なっているので為念。
3. 昭和56年度の指導結果、次のような諸項目
が指導の対象になったので診療上、今後充分
注意されたい。
- (1) 診療録に住所、統柄等必要事項は必ず記
載のこと。
 - (2) 診療録における処方等の診療内容は適確
に記録のこと。
 - (3) 慢性疾患指導管理科の算定は、適確に行
いその診療計画、指導内容の要旨を診療録
に記録のこと。
 - (4) 一部負担金を受領したときは診療録の所
定欄に円まで正確に記載のこと、また適正
に支払を受けること。
 - (5) 診療録の記載は第2病以降分についても
必要事項を正確に行うこと。
 - (6) 傷病名の取り扱いは、連月の一貫性や転
症、転帰等を正確に把握することにつとめ、
その記録に適正を期すること。
 - (7) 診療録の記載に鉛筆書のものがあったの

- でペン書又はボールペン書に改めること。
(毛筆書は公文書として認められている。)
- (8) 診療録は行間を空けないよう記載し誤記
した場合は砂ゴム等で抹消せずに訂正の状
態がわかるようにしておくこと。
 - (9) 時間外加算、休日加算の算定は厚生省よ
り示されている主旨に則って適正に行うこと。
 - (10) 検査は必要な限度とともに必要な検査は
励行し適正な診療とするようにつとめるとともにその検査結果の要点を診療録に記載のこと。
 - (11) 漫然たる投薬の継続又は患者の意向だけ
に迎合した投薬とならないように注意する
とともに投薬の単位数は原則として担当規
則に基づいて適正に行うこと。
 - (12) 投薬、注射等については適応を選択する
ことにつとめること。
 - (13) 薬価基準における診療録の銘柄別薬名は
(成分が変わらないとしても) その薬名のと
おり、診療録にも明細書にも記録するよう
にされたいこと。
 - (14) 傷病名等で左右両側等の表示が必要な例
にはその表示を怠らぬようにされたいこと。
 - (15) 疑診断のまま長期間の診療を漫然と続
けることのないよう適切な処理をとるように
つとめられたいこと。
 - (16) 副腎皮質ホルモン剤の使用については、
その基準等を尊重されたいこと。(例、腰
痛、神経痛では原則的には使用しない。)
 - (17) 院外処方箋発行と院内投薬の併施は点數
表の解説に従って慎重にすること。
 - (18) 診療録には診療の都度、必要事項を記入
すること。(例、様式1号-(3)にのみ、來
院日処方、処置の点数が記録されており、
様式1号-(2)には來院処置等の記録がない
例が見受けられた。)
 - (19) 保険診療分と、保険外診療分との取り扱
いのうえで紛らわしい診療録の記載は厳に
改められたいこと。(例えば産科で、投薬、
注射は、1月11日まで、処置は、1月10日
まで保険適用のようなもの。)

鳴呼あの頃（其の十）

上野精三

暑い暑いと朝夕文句たらたらの8月も終り、いよいよラスト91日なんなくゴールが見えて参りました。9月1日朝起床喇叭で目をこすり乍ら目を覚した一同誰云うともなく「あと91日頑張ろう。」との合図にみんな「そうだ。頑張ろう。」と合い槌を打ち、一同整列して週番士官殿の朝の点呼を受けた訳です。

翌日より朝の挨拶はお早様でなく「あと〇日だぞ。」に変った訳です。

それともう一つ楽しいのは、兵隊らしく暮すのは9月迄で、10月と11月は、弘前陸軍病院へ毎日通勤し、本当の軍医としての教育を受ける訳です。但し病院は頭に陸軍と名をつけてあるけれど、中身は陸軍軍人地方人と云う方が適當な人種の集合体です。

1. 大隊長試験

これが私共にとって大変な難問でした。然しこれを通らなければ目出度い満期除隊がないのです。それで皆頑張ろうと張り切って演習地岩木山に行軍で出発した次第です。

予定は6泊7日の野営です。携帯天幕をつなぎ合せて雨が降っても差支えない様天幕の周りに側溝を掘って、又野営用の便所、炊事場を作つて7日間の宿舎の設営を終了し翌日より実兵式の試験です。

作戦要務令によれば、作戦の単位は大隊です。従つて大隊長となれば、歩兵四ヶ中隊、M・G 1中隊、外配属の新式（94式）M.G.、工兵、通信等の部隊を合せ指揮して戦斗するのです。私共も合格したいのと、いざ鎌倉の際の準備として真剣そのものでした。然し試験が後年（昭和12年10月より昭和20年9月迄）如何程私のため有益であったか今更乍ら感じて居ります。只毎日藁の上にごろ寝の状態で

すので、演習終了後業務分担区分により近く（と云うても約2糠）の農家に行って1銭に3把の藁を買って来て前日の敷藁と交換の上、豚の子同然に暮して居る訳です。然し日中の激しい練兵のため夜ともなれば、着のみ着のままで豚の子よろしく新しい敷藁にもぐり翌朝迄熟睡です。勿論朝の合図はあと〇日と言うのは誰一人忘れませんでした。

2. 同僚の友人の結婚式に乱入

野営4日目から5日目の出来事である。例によって当日の敷藁購入当番のY君（秋田県出身者なるも、父が公務員の為旧制中学校は青森中学校卒業、現在故人）が敷藁を担いで帰つて曰く「面白くない。なんばなんでも、今夜の彼と僕の生活の違い」と言う訳です。

私共一同「Y君どうした。何かあったのか」と皆で尋ねたら、彼Y君漸く平常心に戻り、ことの次第を詳細に説明された訳です。つまり中学校時代の親しい友人が、私共野営地の近くで、今日はその友人の結婚式で、彼哀れにも兵隊の服を着て真黒になって敷藁を担いで来る途中、友人の結婚式の行列に遭遇した訳だったのです。Y君曰く、「今夜彼はあの美人の花嫁と厚い布団二枚重ねて寝るんだよ。俺は哀れにも豚の子宜敷く天幕の中で藁にもぐつて寝なければならないとは、なんと人生は不公平なものだ。中学校時代俺の方が成績が上だったとのことを云うのです。

夕食後皆でY君をなだめて、結婚の披露宴になぐり込みをかけようと衆議一決した次第です。約3糠ある友人の家に行く途中には酒屋がない為、約1糠遠廻りして、清酒5升を皆で携え、披露宴会場になだれ込んだ次第です。参列者一同大変喜ばれて、私共の為お膳

を作ると云うので、私達は夕食が済んだ故、何もいらない、盃の代りに茶飲茶碗を貸してくれ。それと漬物をくれと云うて、一同着席。Y君は一同を代表して二人の為祝詞を述べ、外の一同は自己紹介をした訳です。

自己紹介の文句は、

○○県出身、医師の○○○、独身です。以上自己紹介終了後約2時間程呑んで食って歌って踊って夜半に1人の落伍者もなく全員無事千鳥足で天幕に帰った訳です。今、昔のことを思い出してよくも他人の結婚式に乱入したもんだと恥しい次第です。只、昔は軍人なるが故に、披露宴参列者一同、心から喜んでくれました。

今、申し訳ないけれど自衛隊の方がこの様に他人の結婚式に乱入でもしたら、翌日は全国のマスコミに報道され、自分は懲戒免職、それだけではすみません。直接の上官何人かは減俸となります。

よき時代の兵隊だった訳です。少々の悪いことは勘弁してくれる世の中に生れたことは、なんと幸せなことだったでしょう。徴兵検査に合格した当初は、親の甲斐性のないことをうらみ、又役場の親切が足りないと憤慨したのが誠に申し訳ないことと感ぜられました。

3. 乗馬練習

これは兵隊特に将校にとっては誠に重要な事です。軍隊では佐官以上を乗馬本分者と言います。黒革の長靴に拍車をつけたスタイルは見るからに勇ましいものでした。歩兵の中隊長は徒步。歩兵でも機関銃中隊、歩兵砲中隊、迫撃砲中隊の将校は乗馬本分者です。

騎兵、砲兵、工兵、輜重兵の将校も乗馬本分者でした。吾々衛生部は歩兵の大隊附高級軍医は乗馬本分者、次級医官は徒步です。この為、衛生部幹部候補生には乗馬訓練は必須課目です。

訓練は野砲兵聯隊の覆馬場で助教の砲兵下士官のもとに、最初は馬の手入より始まり、裸馬乗、最後に鞍を置いて乗馬演習です。午後から約10日間通って皆なんとか乗れるようになった訳です。

後年支那事変に応召第108師団衛生隊附となった際、16名の軍医中、乗馬本分者は7名丈で、9名は徒步です。乗馬本分者は何れも幹部候補生として10ヶ月の教育を受けた者で、身体の丈夫な者、9名は赤紙召集の第一乙、或いは第二乙の体の弱い者で、然も軍隊の未教育の者です。丈夫な者は馬、弱い者は徒步、一見甚だ矛盾した様に見えました。従ってこの徒步の見習士官には病に倒れ又弾に傷つく者が多かった訳です。

但し戦斗となり弾丸雨飛の状況下となれば、徒步者は自分の身を遮蔽すればよいのですが、乗馬本分者は敵の目標となり、又近くに馬取扱兵が居ないと、自分で馬の遮蔽もしなければなりません。乗馬と徒步と何れが得かは一長一短あって簡単には決められませんでした。

只、内地の演習などの時は、乗馬本分者は馬上豊かに、得意ぜんとして居りました。

- 次号 1. 弘前陸軍病院に於ける陸軍軍人
地方人時代
2. 惡党幹候共主催の恒例の運動会
3. 秋期演習

について書きます。

扁平足調査について想う

扁平足という言葉に接すると、私は、幼い頃郷里和賀郡湯田町で聞いたある言葉を思い出します。湯田村は山村で耕地の少ない所である。明治から大正にかけての頃、凶作になると、あちこちの農家では生きるために止むを得ず、小学校を卒業したばかりの娘を、泣く泣く、尾張や近江の方の紡績機織工場へ給金を前借して年期奉公に出したとのことである。

その娘達の紡績機織工場における過酷な労働や、寮における陰惨な生活の有様は、有名な小説「女工哀史」や映画「野麦峠」などによって今では一般に知られているようだ。

当時わが国の輸出貿易の主位を占めるものは、生糸・絹織物・綿糸・綿織物であった。

そしてこれらは、この娘達の汗と涙の結晶ともいべきものであった。

娘達は年期を終えると帰ってきたが、中には過労や粗食のため病氣となり、また結核を土産のようにして途中で帰って来る者などもあった。

この娘達の話によると、多くの工場では、工場や寮の屋根から落ちる雨垂れが、軒下の土に穴を開けるのを防ぐため、軒下全部に砂利を敷き詰めていたが、女工達を跣にして、その砂利の上を、毎日一定時間歩かせたということであった。

これは、女工達は毎日長時間立ったままで作業するので扁平足になり易く、扁平足になると、いろいろと体の不調を訴え、作業能率が著しく低下するので、それを防ぐため、会社が経験によって得た知恵であったらしい。

また、陸軍の歩兵聯隊などでも、扁平足の兵士は、行軍力が弱いといわれていたようであった。

このように扁平足は健康上望ましくないことや、跣で歩くことによって、いくらか防げることなどは、早くから漠然とわかっていたようであるが、扁平足についての専門家による調査研究は案外等閑に附されていったようである。

しかし、扁平足は異常であり、長時間の立位により足痛をきたし、また足部のほかに腰部・臀部・大腿・下腿などの遠隔部の疼痛を訴えたり、疼痛はなはだしく歩行困難となる場合もあるので、健康や体力に悪影響があり、その対策

を立てることの必要なことは、当然である。

禅寺の玄関などに「脚下照顧」という扁額を見ることがある。これは仏道修業の要諦を教えている言葉で、「まず足元に気をつけよ。」という意味であると聞いている。

扁平足の調査はまさに「脚下照顧」の実践そのものであったと思う。

この度の岩手郡下児童生徒3,824名の扁平足調査の結果を興味深く謁見し、扁平足に対する認識を新たにした次第です。

この調査に当って下さった各先生方に衷心より敬意を表します。

この調査を起点として、関係者それぞれの分野において、更に調査・研究を進め、その対策を考究し、児童生徒の健康増進につとめることを期待する。

かくすることにより、この調査が生かされることになると共に、この調査に当った方々の勞に報いることになるものと思う。

編集後記

木々の葉も大分色あせ秋めいて来ました。

秋の日はつるべ落しとよく云われますが、このごろの日暮の早いのにはおどろかされます。

半年もとざされる冬がここまでやって来たのかと思うと、いやになります。

今年の郡医師会の行事も上野会長の御努力と辣腕な御采配によりますところいくばくもありません。残されて居りますのは定款の改訂の作業、来年1月開催の健康教育講座の準備であります。上野会長ますます健康で頑張って貢いたいところです。

本号には今年10月、11月行なわれる厚生省監査に備え、又日々の保険診療について御参考になればと思い、盛岡市医師会の御好意により転載しました。遗漏の無いようにしたいのです。

(M)